

令和3年度尼崎市食育推進懇話会議事録

日 時	令和4年1月14日(金)午後2時～3時30分
場 所	尼崎市保健所 歯科相談室及び Web 会議システム (Zoom) ※併用形式で開催
出席者	【会場】今井委員、長谷川委員、三浦委員、由田委員 【Web】小笹委員、小田委員、遠茂谷委員、民谷委員、中川委員、堀委員、 松谷委員 (以上出席 11 名)
欠席者	里村委員、濱名委員、福本委員
事務局 ・ 拡大事務局	【会場】保健部(新家部長) 健康増進課(堀池課長、岡本係長、辻野、田村(記録)) 【Web】北部地域保健課(中川係長)、南部地域保健課(正岡技手) 【Web】保育運営課(中田課長)、農政課(松本課長)、学校給食課(浦田課長) 学校教育課(代理 岩崎指導主事)
議 事	(1) 第2次尼崎市食育推進計画の取組経過及び今後の方向性について ・第2次尼崎市食育推進計画について ・進捗状況について ・評価指標 ・10月ひょうご食育月間の取組 ・今後の取組の方向性について (2) 次期計画について (3) その他 ・尼崎市学校給食展について(ご案内)
資 料	・令和3年度尼崎市食育推進懇話会次第 資料1) 尼崎市食育推進懇話会設置要綱／尼崎市食育推進懇話会委員名簿 資料2) 尼崎市食育推進計画説明資料 資料3) 第2次尼崎市食育推進計画(概要版) 資料4) 第2次尼崎市食育推進計画進捗状況 ①評価指標 ②10月ひょうご食育月間の取組 資料5) 国「第4次食育推進基本計画」(概要版)

1. あいさつ

事務局	<p>皆様、本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたので、令和3年度「尼崎市食育推進懇話会」をはじめさせていただきます。私は、健康増進課の堀池と申します。今回は、会場と Zoom の併用で開催しております。諸所で時間がかかるかもしれませんが、ご了承くださいますようよろしくお願いいたします。</p> <p>開会に先立ちまして、保健部長の新家からご挨拶を申し上げます。会場の方が狭くなっておりまして、大変申し訳ないのですが着座にて進行させていただきます。</p>
事務局	<p>いつもお世話になっております、尼崎市保健部長の新家でございます。この度は委員をご承認くださいませ本当にありがとうございます。本日はお忙しい中、またコロナの感染拡大が進む中において、懇話会にご参加くださいませ本当にありがとうございます。</p> <p>本市におきましては、第2次尼崎市食育推進計画に基づき、「地域で子どもの食を支え、地域の中で食を伝える」という視点で、「地域での取組」「子育て支援」をキーワードにこれまで食育を進めております。</p> <p>本日はお手元の次第にありますように、まずは、第2次計画の進捗状況を中心に説明させていただきます。続けて次期計画について説明させていただきます。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けまして皆様方の活動にも多少なりとも制約があったものと存じますが、コロナ禍であってもオンライン等を活用した取組や環境や食文化を意識した取組など、たくさんの取組があると報告を受けております。このあと、皆様方に議論いただきますけれども、今回、委員の多くの方が改選になっているということで、不安に思われている方もいらっしゃるかもしれませんが、あくまでもこの会は、懇話会ということで審議会のように何かを決める場ではございません。日頃からの活動を踏まえて、気楽に、忌憚のないご意見をいただければと思っております。最後までどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>部長のあいさつが終わりました。この後、公務のため、部長はここで退席させていただきます。</p>

2. 委員紹介・職員紹介(資料1)

事務局	<p>資料1「尼崎市食育推進懇話会設置要綱」をご覧ください。要綱(第1条)のとおり、本市における食育の施策を総合的、かつ計画的に推進するために、専門的な見地及び市民の立場から幅広く意見を求めることを目的に設置しております。第2条のとおり、本日、次第に基づき進めてまいります。</p> <p>資料1、裏面「名簿」をご覧ください。要綱(第3条)(第4条)のとおり、本日もご参加いただいております皆様には令和3年7月13日から令和5年7月12日までの2年間、委員をお願いしております。</p> <p>なお、委嘱状につきましては、本来ならば直接お渡ししてお願いにあがるところでございますが、7月に郵送させていただきました。この場をお借りして、改めてご挨拶申し上げます。</p> <p>本日は、任期1年目、第1回目の懇話会となります。名簿の記載順に委員のご紹介をさせていただきます。一言ずついただけますでしょうか。</p> <p>尼崎市歯科医師会 代表 遠茂谷直子委員です。</p>
-----	--

	<p>尼崎市医師会 代表 中川勝委員です。</p> <p>園田学園女子大学人間健康学部教授 三浦加代子委員です。</p> <p>大阪市立大学大学院生活科学研究科教授 由田克士委員です。</p> <p>市民委員 今井真紀子委員です。</p> <p>市民委員 小田早希子委員です。</p> <p>生活協同組合コープこうべ 代表 コープ立花店長 小笹三津子委員です。</p> <p>尼崎市農業委員会 代表 松谷潤一委員です。</p> <p>尼崎市小学校長会 代表 民谷洋二委員です。</p> <p>尼崎市PTA 連合会 代表 堀洋子委員です。</p> <p>食育サポーターの会 代表 長谷川玲子委員です。</p> <p>尼崎商工会議所 代表 里村文崇委員は遅れておられるようです。Zoom 入室されましたら挨拶をお願いしたいと思います。</p> <p>なお、尼崎市私立幼稚園連合会 代表 濱名清美委員と自然と文化の森協会 代表 福本吉雄委員は、本日ご欠席となっております。</p> <p>続きまして、事務局の職員紹介を行います。</p> <p>拡大事務局として、保育運営課長の中田、農政課長の松本、学校教育課指導主事の岩崎、学校給食課長の浦田です。</p> <p>事務局として、さきほど挨拶しました保健部長の新家、健康増進課栄養管理担当係長の岡本、健康増進課管理栄養士の辻野、田村、北部地域保健課栄養・歯科指導担当係長の中川、南部地域保健課栄養・歯科指導担当の正岡、そして私は、健康増進課長の堀池と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>議題に移る前に、会長、副会長の選出を行いたいと思います。</p> <p>資料1「尼崎市食育推進懇話会設置要綱」(第5条)に基づき、本会の会長、副会長は、委員の互選により定めることとなっておりますので、立候補、推薦をお願いします。</p>
委員	<p>これまで会長として懇話会をすすめていただいたとお聞きしております、由田委員に今期も務めていただきたいと思います、いかがでしょうか。また副会長についても同様に、三浦委員にお願いできればと思いますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。委員の皆様、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ご承認いただいたということで、由田委員に今期の会長を、三浦委員に副会長をお願いしたいと思います。由田委員、三浦委員、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>由田会長、三浦副会長、ひとことご就任のご挨拶をいただけますでしょうか。</p>
会長	<p>引き続き、会長の職を務めさせていただきます。どうかよろしくお願いいたします。</p>
副会長	<p>副会長の方をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ここからは、進行を会長にお願いしたいと思います。由田会長、よろしくお願いいたします。</p>

3. 議事 (1) 第2次尼崎市食育推進計画の取組経過及び今後の方向性について

会長	それでは、議題1 第2次尼崎市食育推進計画の取組経過及び今後の方向性について、事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>まず初めに、取組経過を説明する前に、第2次尼崎市食育推進計画について説明します。資料2「尼崎市食育推進計画 説明資料」をご覧ください。</p> <p>上段の囲みに記載しておりますとおり、尼崎市では、食育基本法に基づき、平成27年3月「第2次尼崎市食育推進計画」を策定し、計画の期間を平成27年度～平成32年度(令和2年度)の6年間としておりましたが、資料2-1、前回の懇話会にて報告させていただいておりますように、「食育は『健康づくり』や『歯と口腔の健康』とも密接に関係している」兵庫県下の41市町のうち27市町は、健康・医療関係等の計画と一体的に策定予定である」というような状況から、「第2次尼崎市食育推進計画」の計画期間を延長し、次期計画より「地域いきいき健康プランあまがさき(第4次)」に包含することで、一体となって市民の健康寿命の延伸に向けた効果的な取組につなげていきたいと考えております。</p> <p>計画期間延長中も、これまでに引き続き、取組を進めておりますので、概要については、資料3「第2次尼崎市食育推進計画(概要版)」を用いて説明いたします。資料3をご覧ください。</p> <p>(P1)本計画は、「生きる」ための基礎となる「食べる」を見つめ直し、次世代に伝える計画です。実践をコンセプトに、市民、関係団体、行政など幅広い分野の関係者が連携・協働して総合的な食育に取り組むものとしています。現状と課題については、肥満・やせ、野菜の摂取量不足などの「健康に関する課題」や孤食や食育の次世代への継承など「食育に関する課題」などがあげられます。</p> <p>(P2)計画の基本理念として「みんなの『いただきます』『ごちそうさま』が人をはぐくむ あまがさきをはぐくむ ～食ではぐくむ笑顔あふれるまち～」を目指し、3つの食育目標「食を通じて豊かな心をはぐくむ」、「食を通じて健康な体をつくる」、「食の大切さを次世代に伝える」を定め、13個の数値目標を設定しております。</p> <p>(P3)これらの目標達成に向け、妊娠期から高齢期まで、ライフステージに応じた食育のポイントを示すとともに、</p> <p>(P4)施策の方向性として、6つの取組の柱をあげ、具体的な取組につなげ、推進しております。今年度の取組経過について説明します。</p> <p>資料4「第2次尼崎市食育推進計画の進捗状況」をご覧ください。</p> <p>まず、資料4-(1)、13個の評価指標における進捗状況について、令和3年度10月末現在の報告です。</p> <p>項目①:いただきます ごちそうさまの挨拶を必ずする人の割合の増加 項目⑤:朝食を毎日食べている人の割合の増加</p> <p>この2つの評価指標は、委員でもあります、武庫愛の園幼稚園をはじめとした市内5園に協力をお願いし、5歳児の保護者を対象に毎年実施している「食育に関するアンケート調査」結果を実績値としております。数値は横ばいではありますが、評価指標の進捗状況の把握だけでなく、「朝食と生活リズムの関係」など、調査結果から読み取れる内容を食育の啓発にも反映させながら、</p>

	<p>継続した食育活動を実施しております。</p> <p>項目④:食育活動・学習の機会に参加する中学校、高校の増加 この項目は、食習慣の自立の時期である中高生の取組の充実を図ることをねらいとして設定しております。分校を含めた市内中学校 18 校における健康教育や啓発、市立尼崎高校における「あまいも」に関する取組をあわせ、19 校と維持できております。ご存じのように、令和 4 年 1 月から、市立中学校(全 17 校)にて給食も開始しております。</p> <p>項目⑪:市や地域と連携して食育活動に取り組む組織・団体数の増加 「10 月ひょうご食育月間」の取組報告として、委員の皆様のご協力もあり、55 の組織・団体数が現在活動している状況です。詳細については、後ほど説明させていただきます。</p> <p>その他の項目については、前年度実績値による把握、—(バー)は次期計画策定時にアンケート調査により実績値を把握しますこと、ご了承ください。</p>
事務局	<p>続いて、10 月のひょうご食育月間の取組を報告します。 資料4-(2)をご覧ください。</p> <p>毎年、関係機関・団体等と連携・協働し、食育月間に併せて行っております「ひょうご食育月間普及啓発ポスター」は、今年度、より多くの人に市ホームページにまとめて掲載している食育情報にアクセスしていただけるよう、QRコードを多数活用したポスターを作成しました。委員の皆様にもご協力いただき、市内掲示板、保育所(園)、幼稚園、小学校、中学校、事業所等、合計 2,000 か所以上に掲示し、10 月 1 カ月間で市ホームページへのアクセスが約 5,000 件ありました。</p> <p>昨年度実施しました「食生活に関するアンケート」の調査結果の中で、「自宅で調理・食事をする機会がコロナ禍で増えている」こともわかっていたため、QRコードを活用した啓発ポスターを作成したことで、10 月のひょうご食育月間の 1 カ月間だけでなく、その後も継続して講座等で使用できる媒体となっています。</p> <p>続いて、資料の下、後ほど拡大事務局より補足説明がありますが、取組例をあげますと、「尼崎市立幼稚園 YouTube『おうちでクッキング』」「尼崎市立保育所給食 たっぷり野菜の日」「尼崎市そ菜品評会 あまやさいグランプリ2」「尼崎市立小学校給食での取組」等、これまで家庭での実践に向けて「料理体験」や「試食」等を中心に展開してきた食育活動も、オンライン実施やQRコードを活用することで、活動を中止するのではなく、子どもも大人も一緒に取り組めたという報告をいただいております。</p> <p>さらにその下、委員の皆様方からも、「園田学園女子大学等との連携による、学生と連携した、1日1品の毎日簡単レシピの発信」「食育サポーターの会による、クッキング動画の配信」「武庫愛の園幼稚園による園児向けの『給食室の仕事を知ろう!』という動画教材の発信、「自然と文化の森協会による『あまっこ川あそびサミット ～藻川を食べつくそう!～』というイベント」や市民委員の方による「酵素を取り入れた元気あまごはん」「作ったお味噌をみんなで楽しもう!」といった環境や食文化を意識した活動事例についても多数ご報告いただきました。どうもありがとうございました。以上で、一旦、事務局からの説明は終わります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>拡大事務局の皆様、補足説明や情報提供などいただければと思っておりますが、いかがでしょうか。最初に、農政課からお願いできますでしょうか。</p>

<p>拡大事務局</p>	<p>農政課です。「尼崎市そ菜品評会のあまやさいグランプリ2」の紹介をさせていただきます。</p> <p>毎年 11 月、第 1 日曜日の農業祭と併せて、「そ菜品評会」を開催しております。毎年、約 1 万人お越しいただく農業祭は、コロナの影響により、昨年度と今年度ともに中止となりました。ただ、農家のみなさんが作られた野菜を品評する催しは何とか続けていきたいと、密にならないよう、「あまやさいグランプリ2」として実施し、農家さんから“これぞ！”というような野菜を出品していただきました。今年は、127 人の農家さんから、お一人につき 1 点に絞っていただき、127 点のご応募をいただきました。多くの関係者の方に審査いただき、特別賞 10 点と奨励賞 5 点の表彰をさせていただきました。今年は、尼崎市で採れたおいしい野菜をたくさんの方に知っていただきたいということで、市報により事前に希望者を募りました。市民 100 人と子ども食堂 5 カ所に、この野菜を無料提供させていただき、大変好評でした。当日の様子は、YouTube で公開しておりますので、お時間がございましたら、「あまやさいグランプリ2」と検索していただき、是非、ご覧いただきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>引き続きまして、学校教育課、いかがでしょうか。</p>
<p>拡大事務局</p>	<p>学校教育課です。コロナの影響により、給食とか家庭科の授業での「実践」が難しくなり、形態が変わったりしていますが、食育については継続して実施しています。中学校給食が始まり、子どもたちは小学校で慣れているのですが、先生の方が給食指導について戸惑いがあり、小学校と中学校で連携し、中学校の先生が小学校へ出向いて学び、今のところ問題なく実施していただいているところです。</p>
<p>会長</p>	<p>ちょうど話題にもなりましたが、学校給食課、いかがでしょうか。</p>
<p>拡大事務局</p>	<p>学校給食課です。学校給食は、「児童、生徒の健康保持増進、体位向上を図る」ことを主な目的とし、教育上、意義深いものとして、単なる食事提供ではなく、教育上の観点から給食提供を行っています。</p> <p>資料 4 のとおり、学校においては、栄養教諭・栄養職員を中心に、「献立」や「食材の栄養素」について学べるよう、例えば、給食室入口付近に「食材の産地」「体を作る栄養素」などを掲示するなど、それぞれの学校において工夫を凝らしながら、食育の取組を展開している状況であります。「給食だよりの配布」については、各家庭の保護者に、1カ月単位で給食の献立表をお配りしており、「食育に関するコラム」なども掲載しております。「食材」に関しては、農政課の松本課長にもご尽力いただき、JA 兵庫六甲と協議しながら、「市内産のお米」を年数回程度ではあります。給食の中で活用できるよう、従前から徐々に進めております。また、軟弱野菜・葉物野菜を出荷生産している市内の農家さんに協力いただき、「小松菜・水菜」など「市内産の食材」を使用した給食も年数回程度ではあります。取り組んでいます。</p> <p>今週 1 月 12 日から「中学校給食」が開始されました。市内全 17 校の給食、約 9,000 食分を、元若草中学校の跡地（JR尼崎駅東側）にできた「学校給食センター」にて一括調理し、A・Bの2献立制で、毎日各中学校へ配送する方法で給食の提供が始まっております。12 日は初日ということで、「市内産のお米」「尼崎の生（なま）醤油」を使った献立の提供に取り組んでおります。</p>
<p>会長</p>	<p>保育運営課、いかがでしょうか。</p>
<p>拡大事務局</p>	<p>保育運営課です。コロナ禍でこれまでの保育所での食育活動が大幅に制限されているのは事実です。調理活動ができず、収穫物を食べるという活動も制限しております。何より、「給食を楽しみながら食べる」という行動が制限されており、パーテーションでお友達と区切られ、黙食という状況です。このような制限のなかでも、保育士や調理師が色々な保育活動の中で「野菜に興味を持つ」ように、例えば、野菜の実物を見せる、ペープサートや絵本により啓発するなど工夫して取</p>

	<p>り組んでおります。保育所の給食は、日ごろでも野菜は多いのですが、「たっぷり野菜の日」は、野菜中心のおいしい、やさしいメニューとなっています。それを、調理師が子どものいる保育室まで行き、「今日の給食には、〇〇という野菜が入っているよ」「こんな風で作るんだよ」と説明することで、子どもたちは大変興味を持ちます。4月、少し野菜嫌いの状態で入所してくる子どももいますので、「たっぷり野菜の日は、野菜の量が多いかな」という思いもありますが、日頃の保育の中で、野菜に興味を持たず取組を継続することで成長し、「野菜大好き」といった状態で卒園していきます。</p> <p>保護者への啓発も、とても大事なことだと思います。「給食の献立表」に「ワンポイントアドバイス」「簡単レシピの紹介」をする、「調理師がレシピを作成し、自由に保護者が持って帰れるようにする」「(今は集まることができませんが)保護者総会などで、調理室から献立紹介をする」など、各保育所で工夫し、努力を積み重ねております。本当に、保育所の子どもたちは、野菜大好きな子どもに育っていると思います。以上です。</p>
会 長	<p>引き続きまして、取組事例をご報告いただきました委員の皆様方に補足説明、あるいは情報提供等いただければと思います。まずは、事務局と連携した取組ということで、三浦委員から少し補足説明をお願いします。</p>
委 員	<p>連携というとおこがましいですが、本学食物栄養学科の学生が、公衆栄養学の一環として保健所実習で大変お世話になっております。実習課題に、レシピや動画作成があり、今年も「市ホームページによる毎日レシピの発信」という機会をいただきました。レシピを考える上で、学生に感想を聞きましたところ、「まずは自分の食生活を考える機会になった」とのことです。管理栄養士を目指している学生ですから、色々な知識を学んできているはずですが、動画でレシピを発信することの難しさを体験したようです。動画はとても分かりやすいツールですが、相手が理解できるように伝えるために、自分が理解している調理手順や内容をどこまで省略してよいかどうかの判断が難しかったようです。学生自身も初めての経験で戸惑うことも多かったようですが、「料理の作り方がわかりやすい」と評価していただき、作り上げた達成感は大きかったようです。コロナ禍だからこそ、このようなツール作成の機会が得られたと思います。学生自身も「若い世代には、まず自炊に挑戦することをテーマに発信していきたい」「調理へのハードルが少しでも低くなるように、簡単な、若者が作りやすいようなレシピを考えていきたい」と申しておりました。以上です。</p>
会 長	<p>食育サポーターの会、今期より委員として入っていただいておりますけれども、長谷川委員、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>今までは調理実習という形で、子ども(主に、小学生)と一緒に調理し、食材や食べ物の大切さ、作ることの楽しさ、包丁の使い方、野菜の扱い方など、直接、手を取りながら伝えることができていましたが、コロナでできなくなり、どうしたものかと思っていました。すべての活動が中止になったので、何か工夫してやりたいな、という想いで動画にチャレンジしてみました。全くの素人で、三浦先生の発言のように本当に大変なことでした。料理を作ることは簡単ですが、それを動画にするという作業、編集が難しく、かなり作成には時間がかかってしまいましたが、市の公式Youtube にあげていただけて喜んでおります。また、第2弾も1月中にあげていただけるようですので楽しみにしています。</p>
会 長	<p>食文化や和食継承の取組ということで、市民委員の小田委員、いかがでしょうか。色々と、食育活動をなさっておられるようですが、追加説明とかご発言いただけますでしょうか。</p>
委 員	<p>私自身、知り合いを通じて、食のことに興味を持ちはじめました。4歳と5歳の子どもが二人ともアトピー性皮膚炎で、通っている幼稚園が食に対する意識がとても高く、さらに自分自身</p>

	<p>の食に対する意識が高まりました。子どもが食べるものは親が選ぶので、親次第です。大人がすべて選んでいるという意識のもと、「大人が意識しないといけない」とすぐ感じました。そこで、食育講座やイベントなどを通して、色々なことを伝えていけたらと思い、今回、食選びの基礎となる、日本の伝統調味料である「お味噌」を使った講座を実施しました。身近にあるものから意識してもらい、簡単に伝えられるように、体験も含めて色々なお話をさせていただきました。若い方の参加もあり、「全くこれまで食に対して意識してこなかった」「お味噌の選び方も全く知らなかった」「色々な食べ方があるんだ」などと感想をいただき、やってよかったと思いました。「食育とは何か。楽しく食べることはもちろん大切ですが、自分が食べるものを選ぶ、食に関する知識は知らないよりも知っている方がいい」ということに気づかされ、一人ひとりの意識がとても大事であることを感じました。これからも継続して活動していけたらと思います。以上です。</p>
会 長	<p>同じく、市民委員である今井委員、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>お味噌の話が重複しますが、お店を始めて 11 年目になります。初年度からお味噌づくりの講座をしており、毎年 200 名程度の参加があるので、リピーターの方を含めると 2,500 名程度の方に体験していただいていることになります。子どもが 5 歳の時に参加してくれたお母さんも、現在、子どもが 16 歳になっています。はじめは、ママ友としてお味噌づくりに参加していましたが、子どもが幼稚園を卒業してバラバラの小学校に行っても、お味噌づくりだけは一緒にしようと、ママ友の年間行事としてしてくれている方も大勢います。先のことまで、色々考えて始めた訳ではなかったのですが。</p> <p>お味噌づくりを手伝った子どもが、自分でお味噌汁を作り、「おいしい？」と家族に一人ひとりに聞くそうです。「お味噌汁には、どんな野菜が合うかな？」と食材を選ぶ子もいます。うちのお味噌づくりは、前年に作ったお味噌(=種味噌)を持参してもらい、材料に加えて種を継いでいく方法で作っています。お味噌を手作りしていたお母さんが亡くなり、「母のお味噌が食べられなくなった」という方がおられました。お母さんが作られたお味噌を持参し、新しいお味噌に混ぜ込み、今でもずっと引き継がれているというエピソードもありました。おでんの追いだしのよう、お家の味をつないでいくこともできることに気づきました。お味噌は、家で作れる一番簡単な調味料ではないかと思います。どのような材料でできているかを見ることができるので、自分でやってもいいなと思います。このように、長年続けていくうちに、「会社の福利厚生でお味噌づくりをしてみたい」という声もありました。昔は慰安旅行や食事会などをしていたようですが、なかなか時間が取れないというのが理由のようです。まずは「お味噌づくりをしてみたい」という人がお味噌を作り、出来上がったお味噌で「味噌パーティー」をし、「来年もお味噌を仕込もう」というような流れで行っています。お味噌づくりから色々な事ができるようになったと思います。これからも、しっかり続けたいと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。とても興味深いお話だったと思います。</p> <p>これまでの取組、ご報告の中で興味ある内容等、ほかの委員の方、ございませんでしょうか。あるいは、何か追加で関連するようなご紹介をいただけるとありがたいのですが。</p> <p>松谷委員、今年度も「親子の食農体験ツアー」は中止であったと伺っていますが、それに代わるような取組、次年度以降、何か計画されているような企画などはございませんでしょうか。</p>
委 員	<p>私たち、都市農業を行っている農家は、生産しているものを、近くですぐに食べていただくことができます。本来ならば、じゃがいもや玉ねぎなど、6月の収穫時期にあわせ、毎年、「親子の食農体験ツアー」を行っておりましたが、コロナで人を集めて行うことが非常に難しく中止しました。社会福祉協議会、JA兵庫六甲、立花地域振興センターが協力し、じゃがいも・玉ねぎを収穫し、</p>

	<p>畑のすぐそばにある学校の給食室で、参加者が調理するというイベントでした。自分で「作ったもの」「収穫したもの」が食べられるということで、小さい子どもたちにも大変好評で、いつも盛大に行っています。今年は6月くらいに開催できればと思っていますが、コロナの感染状況により、実施できるかどうかまだわかりません。しかし、私たち農家としては、今、玉ねぎの補植しております。植え付けもしていますが、昨年も無駄になりました。できれば、「人数を制限する」など工夫して、実施ができればと思っています。農家が、地域のみなさんに直接体験していただけるような取組を行い、都市農業として伝えていきたいと思っています。みなさんと楽しみを共有したいと思っています。以上です。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。PTA連合会、堀委員、いかがでしょうか。PTAや連合会の取組、話題、ご質問等ございませんでしょうか。</p>
委 員	<p>PTA連合会で、イベント等の取組は今のところはありません。PTAというか、親の立場から考えると、食育に興味のある方はこのように率先して取り組んでおられるので心配はありませんが、逆に、興味のない方々の子どもさんに対する食育が心配だと思います。食育に興味のない方々の受け皿が何かないと常々思っています。</p> <p>以前、仕事で添加物の研究をしていたこともあり、「手間ひまかけた食事は素晴らしいですが、添加物がすべて悪いわけでもない」ということも知っていただきたいと思います。1 トンくらい大量に添加物を食べれば体に影響も出ますが、実際は 1 トンも食べないですから。なので、無理するくらいなら、簡単なものを使ってでも、おいしく食事が食べられるようなアプローチも必要ではないかと思っています。以上です。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>歯科医師会では、ホームページに「虫歯予防」「食育」に関する動画を配信されていると伺っております。歯科医師会、遠茂谷委員、何か情報提供等いただけますでしょうか。</p>
委 員	<p>歯科医師会では、コロナで 2 年ほどイベントがすべて中止になっております。それに代わり、動画を作ったと聞いております。この先のイベントについては、今から協議し、話し合うと聞いていますので、今のところイベント等は未定となっております。以上です。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>医師会も、適塩化フォーラム等が中止になったと伺っています。医師会の中川委員、何かこれらに代わる取組、次年度以降のご予定等はございますか。</p>
委 員	<p>適塩化フォーラムは、2 年連続で中止になりました。医師会は、コロナ対応が主戦場になっております。再度できるようになれば非常にいいと思いますが、適塩化フォーラムを企画・実施していた医師も、コロナ対応の真っ只中で、感染状況の改善待ちです。</p> <p>尼崎市の学校保健委員会と医師会が、食育ポスター「朝食を食べよう」の作成を 2 年間ほど実施しており、良いものが出来上がっております。しかし、今回は、「コロナに関する感染予防のポスター」を作ることとなり、医師会として、食育に関する取組ができていないというのが現状です。少しずつ、考えていきたいと思っています。以上です。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>小学校長会、民谷委員、これまで色々な方面から報告や説明がありました。</p> <p>小学校から、何か連携できそうな取組やアイデアなどございませんか。先ほど、PTAの方から、なかなか情報を積極的にキャッチしにいかない保護者のお話も出ておりましたが。</p>
委 員	<p>コロナ禍でなければ、調理実習や外部講師を招き「だし汁の味比べをする」などの授業もでき</p>

	<p>るのですが、難しい状況です。ただ、高学年であれば、「家庭科の授業で学んだことを自宅に持ち帰る⇒おうちの人と一緒に調理する⇒内容をレポートにまとめる⇒グループワークをする」というようなコロナ禍でもできる授業内容で取り組んでいるものもあります。</p> <p>栄養教諭も各学年で食育に関する授業をしています。今年、私が見学した授業は、「きらきら朝ごはんをたべよう」というテーマでした。食育と健康面というのは、切っても切れない関係であり、栄養教諭の授業だけではなくて、養護教諭や色々な授業と関連してくると思います。</p> <p>啓発については、ご意見のとおり、本当に聞いていただきたいところにまで、うまくPRできていないことは学校の課題です。例えば、給食の様子など、本校もホームページ上で公開しております。特に、4月、1年生にとっては初めて給食ですし、ホームページを見るなど、積極的に情報をとっていただけるご家庭はいいのですが、お忙しいなどの事情によりなかなか情報が行き届かないご家庭は、給食便りの配布ももちろんしておりますが、学校としても課題です。何かいいお知恵があれば教えていただきたいと思います。学校も改善していかなければならないところが多くありますので、色々なところからご意見、ご指導いただければと思っています。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。なかなか今のご指摘は難しいお話ではありますが、是非この会の中でいいご意見が出てくればと思いながら、聞いておりました。</p> <p>コープ立花店、小笹委員、今、お店が改装中ということですが、コロナ禍、買い物方法にも変化があるのかもしれませんが。そういったことも含めて、食育と関連した情報などいただくことはできますでしょうか。</p>
委員	<p>改装前は売り場が広がったので、売り場の一角で、「お肉を焼きながら、このお肉は、えさまでこだわっています」「この野菜は、土からこだわっています」「ブリなどのお魚は、海の水を汚さないえさを与えています」などと説明し、試食しながら誰でも聞けるようにしていました。現在は仮設店舗で同じような取組ができないので、少数の方やコープを一緒に盛り上げていただいている方を対象に「学習会」という形で実施しています。昨年夏は「野菜」をテーマとし、野菜の食べ方、栄養素、見分け方など、専門講師を呼び、少人数制で実施しました。例えば、「バナナは、芯の黒いところに農薬がたまるので、そこは食べないように」「バナナの筋にも栄養がある」ということを教えていただきました。参加者が学習内容をもとにポスターを作ってください、今、コープの店内にも掲示しています。2月には、「フレイル予防」をテーマに学習会を予定しています。実施後は同様に、参加者に「フレイル予防に必要なたんぱく質について、例えば、この食材にはたんぱく質がこれくらい入っています」などポップを作成してもらい、掲示したいと思います。</p> <p>なお、現在も、店内では、「このみかんはここが食べごろですよ」というようなイラスト入りの小さなポップを作り、目で見て分かる表示をしています。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。見える化という形を進めておられるということですね。とても面白い取組だと思いながら聞いておりました。色々なアイデアやご意見をいただきまして、本当にありがとうございます。</p> <p>では、今後の取組の方向性について、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>色々たくさんのご意見、アイデアなど、どうもありがとうございました。この資料4については、皆様からいただいた情報を少しでも「見える化」しようということで作成しました。</p> <p>今日、私たちが皆様からご意見をたくさん聞いて学んだように、市民の方にも「食の大切さを見つめ直し、実践につないでいこう」と思っていただけのように、「食育フォーラム」を開催する予定でした。「少しでもたくさんの方に参加してもらえるように」「市民まつりに来たついでに食育フォーラムにも参加してもらえるように」と、市民まつりに併設した形で実施する予定でしたが、緊急事態宣</p>

	<p>言の発令で、市民まつりそのものが中止となってしまいました。</p> <p>資料4-②「10月ひょうご食育月間の取組」を会議資料で終わらせず、本日、皆様からいただいたご意見を加え、啓発媒体として作成し、市ホームページによる情報発信や啓発媒体として活用することで、評価指標⑪「食育に取り組む人・団体」が増え、連携した取組につなげていきたいと考えております。保護者の方に配っていただける場、店内掲示できる場などのお声もいただきました。啓発媒体につきましては、事務局で本日の意見をもとに修正し、一度、委員の皆様にご確認させていただきます。なるべく早く作成しますので、ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、参考ではありますが、令和3年度策定されました、国「第4次食育推進基本計画」を資料5として配布しております。コロナ禍2年目に突入し、現在、感染拡大している状況でもあり、なかなか取組が進まないことを私たちも痛感しております。デジタル化に対応しながら、持続可能な食育の取組を続けていく視点として、皆様の活動にもご活用いただけたらと思います。以上です。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。なるべく早く情報提供していただけるといいなと思います。</p> <p>事務局からの今のご説明、提案事項について、何かご質問などございますでしょうか。</p> <p>無いようなので、次の議題に移ります。</p>

(2)次期計画について

会 長	<p>それでは 次の議題に入ります。</p> <p>議題2 次期計画について、事務局、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料2、「2次期計画について」をご覧ください。</p> <p>令和4年度、尼崎市食育推進懇話会は、2回の実施を予定しております。皆様には、次期計画策定に向け、市民意向調査として実施する「アンケート調査」の内容や、これまでの食育の取組成果や調査結果から見える課題など、専門的な見地や幅広い意見をいただき、令和5年度、計画策定を行う予定となっております。</p> <p>なお、次期計画については、「尼崎市地域問題審議会」において審議できるよう準備を進めてまいります。また、「尼崎市食育推進懇話会」のように、専門的なご意見を幅広くいただきながら、食育の施策を総合的かつ計画的に推進できるよう、このような意見交換の場は継続したいと考えておりますので、皆様、ご協力よろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。今ほどの事務局からの説明につきまして、何かご質問とか、ご意見とかございますか。なければ、次の議題に移ります。</p>

(3)その他

会 長	<p>では、議題3、その他「尼崎市学校給食展について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>学校給食展のチラシをご覧ください。学校給食課長、説明よろしくお願いいたします。</p>
拡大事務局	<p>尼崎市では、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てるため、「心と体を育てる学校給食」をテーマに、学校給食や食育に関するパネル展示等を行う、「食育フェア 尼崎市学校給食展」を開催しております。</p> <p>今年度は、文科省が1月24日～1月30日に定めている「全国学校給食週間」の期間中となる、1月29日と1月30日に、「尼崎市学校給食展」を開催する予定にしております。開催場所</p>

	<p>は、あまがさきキューズモール 3 階「レンガのひろば」で予定しております。展示内容は、「尼崎市における給食の歴史」「給食で使用している市内産の食材のご案内」「中学校給食を紹介するパネル展示」を行います。また、「安全でおいしい給食調理の様子」を栄養教諭が紹介する動画を、尼崎市の広報課と連携し作成しました。この動画も、会場のモニターを使って、来場された方に紹介したいと考えております。この動画につきましては、尼崎市の定住・転入促進情報発信サイト「尼ノ國」でも、「献立作成から給食ができるまで」という題材で、公開する予定です。</p> <p>「栄養バランスの摂れた、安全で安心なおいしい給食の提供に取り組んでいます」ということ、「学校給食を通じて食生活について考えていただく機会にさせていただきたい」ということで開催しています。委員の皆様におかれましても、お買い物の合間等に是非立ち寄っていただければ幸いです。</p> <p>先ほど、食育に関して興味を持っている方は、自ら情報を収集し、積極的にイベントにも参加される方が多いですが、そうでない方への対応が課題であるというお話もありました。学校給食展も、昨年度はコロナで中止となりましたが、これまでは各行政地区にある「生涯学習プラザ」等を会場として開催していました。今回初めて、商業施設を使った給食展を開催します。この意図としては、より多くの方に、「学校給食の役割や意義を知っていただきたい」、「食育を考える、関心を持つといったきっかけにさせていただきたい」という思いがあります。尼崎キューズモールは、尼崎市の中心部といえますか、アクセスが良く、どのエリアからでも買い物に来ていただける立地です。買い物の間に来ていただき、より多くの方に「食に関することを考える、意識してもらう」勢いになればと思います。委員の皆様も、お知り合い、お友達にお声かけいただければ幸いです。よろしく願います。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。今のご説明で何かご質問等ございますでしょうか。</p> <p>土日で、かつ、終わりの時間が午後 8 時までということで、とても参加しやすい配慮をされておられます。是非、ご参加できる方は行っていただきたいなという思いで聞いておりました。</p>
事務局	<p>少しお時間よろしいでしょうか。本日欠席の方の声、活動紹介を補足させていただきます。</p> <p>本日欠席の「自然と文化の森協会」の福本委員からは、「学校給食展に是非行きます」というメールをいただいております。「自然と文化の森協会」の活動は、毎月発行している「あまがさき通信」にも掲載されています。また、ホームページ、ブログも更新されています。</p> <p>また、「武庫愛の園幼稚園」は、農林水産省実施の第 5 回食育活動表彰で、農林水産大臣賞を受賞されています。農林水産省ホームページに動画配信されており、園のホームページでもブログや動画配信されています。是非、ご覧ください。以上です。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>本日予定されています議事については、以上となります。進行を事務局へお返しいたします。</p>
事務局	<p>本日は多様なご意見をいただきまして、どうもありがとうございます。</p> <p>本日、オンラインなどを活用した新しい取組や情報発信の方法、また、次世代へ伝えていきたい「環境や食文化」を意識した取組など、委員の皆様のいろいろな工夫や思いなど、意見をいただきました。これらをもとに、連携した取組が少しずつでも広がるように、努めてまいります。来年度も引き続き、次期計画策定に向け、ご意見をいただきますよう、よろしく願います。</p> <p>本日はこれで終了させていただきます。皆様、ありがとうございました。</p>